

すいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. **325**

平成27年 / **11**月号

山形県漁業協同組合
広報誌



「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～ 1年前プレイベント in 酒田」開催

11月1日（日）酒田市公益ホールにて、「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～1年前プレイベントin酒田」が、大会関係者と一般来場者約500名の参加により盛大に開催されました。

P. 3の記事に詳細を掲載しております。



TPP合意の影響を乗り越える強い水産業づくりのための決議を採択!

去る十一月十二日、表題に関する全国漁連(府県漁協)・信漁連会長、漁済組合長合同会議が東京大手町カシオプラザを会場に開催されました。はじめに岸安全漁連代表理事会長が主催者挨拶、長屋代表理事専務が大筋合意の概要とJFグループとしての対策について説明されました。その後、鈴木俊一自民党水産政策推進議員協議会会長が所信表明。最後に小川栄代表理事副会長が「TPP合意の影響を乗り越える強い水産業づくりのための決議」を朗読し、満場一致で採択するとともに、自民党国会議員全員に対し要望書を提出いたしました。



決議文(全文)

去る十月五日、TPP交渉が大筋合意に至った。合意内容を見ると、国会決議に則り漁業補助金の国の政策決定権は維持されたが、関税については、一部削減の上維持されたノリ、コンブ等の海藻類以外は、期間を設けられたものの撤廃という非常に厳しい結果となった。さらに、牛肉等の畜産物関税が大幅に引き下げられることとなったことから、魚から肉へのシフトが加速し、水産物消費の減少や価格下落が強く懸念される。

我々漁業者は、強い水産業づくりに向け「浜の活力再生プラン」に基づく自らの改革をさらに強力に推進していく所存であるが、血のにじむような漁業者の努力が水泡に帰すこととならぬよう、下記事項の実現を政府・国会に強く求める。

記

意欲ある漁業者が将来に亘って希望を持つて経営に取り組めるよう、漁業者の行う水産業の構造改革や資源回復の取組等に対する強力な支援策を講ずること

二〇一五年十一月二日

・信漁連会長、漁済組合長合同会議

おめでとうございます! 山形県機船底曳網漁業協議会 山形県水産業賞受賞



前列右から2人目が
山形県機船底曳網漁業協議会の池田亀五郎会長

平成27年度山形県水産業賞は、永年にわたり本県沿岸漁業の振興、発展に寄与したとして「山形県機船底曳網漁業協議会」が受賞し、去る11月12日、山形市の「文翔館」にて表彰式が催され、池田亀五郎会長が出席し、吉村県知事より表彰状と楯が授与されました。

同会は昭和39年に船主同士の会として発足し、平成14年に山形県底曳網漁業連合船頭会と統合し、底曳網漁業の船主、船頭が一体となり、漁業調整、漁具改良、漁獲規制などの資源管理、漁場開発と保全、鮮度保持設備等の機器導入など全県一体となり様々な問題に対応してきました。現在の会員は39隻で構成されており、この受賞により更なる向上の励みになると共に、他の漁業団体への刺激にもなることと思います。

第36回 全国豊かな海づくり大会 ～やまがた～ 1年前プレイベント in 酒田 開催



平成27年11月1日(日)、酒田市公益ホールにおいて、大会関係者の機運醸成と式典行事のリハーサルを目的に「1年前プレイベントin酒田」を開催いたしました。

式典行事では、五十嵐山形県漁業協同組合代表理事組合長の「開会のことば」に続き、細谷副知事、丸山酒田市長、榎本鶴岡市長がそれぞれ主催者挨拶を行いました。

また、去る10月25日に富山県で開催された第35回全国豊かな海づくり大会において、次期開催県として吉村知事が引き継ぎを受けてきた大会旗

の披露、稚魚等のお手渡しなど、本大会さながらに進めました。地域の水産業や若手漁業者を紹介するビデオ上映も行い、来場者は、普段は見ることができない漁労作業など興味深く見入っていました。最後は、次世代の担い手である県立加茂水産高校生が「豊かな海づくり宣言」を行い、関係者や会場が一体となり、来年の山形県大会の成功を誓いました。

引き続き行われた「さかなクントークショー」では、子ども達に人気のお魚クイズのほか、庄内浜文化伝道師を交えたお魚料理教室もあり、会場は大いに盛り上がりました。

今回のプレイベントは、大会関係者の皆様のご協力により無事終了することができました。今後とも本大会に向けた準備や各種事業に取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

庄内総合支庁全国豊かな海づくり大会推進課
事業推進主査 長谷川 正彦

第36回全国豊かな海づくり大会ホームページ ◆ <http://yutakanaumi-yamagata36.jp/>

理事会情報

平成27年度 第5回 理事会
開催日…平成27年10月20日(火)
場所…本所 第一会議室

- | | | | |
|----|--|----|-------------------|
| 1 | 【報告事項】
平成27年度上半期事業概況について | 14 | 組合員の加入・脱退及び減資について |
| 2 | 【協議事項】
理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について | 13 | その他 |
| 3 | 反社会的勢力への対応に関する規則の一部改正について(案) | 12 | |
| 4 | 「第36回全国豊かな海づくり大会」当日における市場業務と所属漁船の操業について(案) | 11 | |
| 5 | うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について | 10 | |
| 6 | 小型定置網漁業の行使契約締結について | 9 | |
| 7 | 約定更新に伴う販売売掛金与信極度額設定の承認について | 8 | |
| 8 | 飛鳥支所・中村貯氷冷蔵庫の土地取得について | 7 | |
| 9 | 冬期終業時間の一部変更について | 6 | |
| 10 | | 5 | |
| 11 | | 4 | |
| 12 | | 3 | |
| 13 | | 2 | |
| 14 | | 1 | |

第66回 全国漁港漁場大会

10月22日(木)東京都において第66回全国漁港漁場大会が開催され、山形県漁港漁場協会からは、五十嵐組合長はじめ9名の会員が参加しました。

1,300人が参加した大会では、4項目からなる「漁港・漁場・漁村・海岸整備の促進に関する提言」が全会一致で採択されました。

大会終了後、五十嵐組合長、時田遊佐町長、池田幸一郎氏、本間満氏、佐々木昇氏が議員会館を訪問し、山形県関係の国会議員への要請行動を行いました。

このうち、岸宏一参議院議員と大沼みずほ参議院議員とは、大会提言の要請とともに意見交換も行いました。意見交換では、平成28年9月に山形県で開催される「第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～」が話題になり、鶴岡・酒田での1年前プレイベントを踏まえてしっかり対応していきましょうとの話がありました。

山形県漁港漁場協会事務局(庄内総合支庁水産振興課) 土門 敦彦



第35回 全国豊かな海づくり大会 ～富山大会～



10月24日(土)、25日(日)の2日間にわたり射水市の海王丸パークなどで「第35回全国豊かな海づくり大会～富山大会～」が開催されました。

大会当日は、天候にも恵まれ、2日間で延べ3万人を超える来場があり、盛況のうちに終了しました。

射水市の高周波文化ホールでは、式典行事が行われ、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り、地元富山県内の伝統芸能の披露、資源管理や漁場保全などに功績のあった団体の表彰、最優秀作文の発表、漁業後継者の決意表明や大会決議などがありました。

海王丸パークでは、稚魚の放流や漁船等の海上パレード、関連行事などが行われましたが、展覧された海王丸の雄姿は海洋大国「日

本」にふさわしく、富山県民ならずとも来場者の目に誇らしく映ったのではないのでしょうか。

石井隆一富山県知事から吉村美栄子山形県知事に大会旗が手渡され、来年9月11日いよいよ山形県大会です。皆さん、大会機運醸成にご協力お願いします。

本県の受賞団体

- 農林水産大臣賞
- 栽培漁業部門
- 公益財団法人 山形県水産振興協会
- 資源管理部門
- 最上川第二漁業協同組合
- 環境大臣賞
- 漁場・環境保全部門
- 小波渡地域藻場保全活動組織

誠にありがとうございます。



皆さん 安心してください! 使えますよ。

無線機器、レーダーなど 旧機も継続利用可能になります。

無線規格（新スプリアス）対応について、10月26日付「日刊 水産経済新聞」に無線機器に関する情報が掲載されました。以下は記事を抜粋した内容です。

新無線規格は、通称を「新スプリアス規格」と言い、陸上、海上を問わず中心周波数から離れた不要な電波の一部「スプリアス発射」の強度を低減し、混信や妨害のない通信の実現を狙いとしています。平成 19 年 12 月 1 日以降に製造された無線機器は新規規格適合機であり、この無線機への交換が推奨されていました。

しかしながら現在、漁業に従事する隻数は減少し、更には魚価の低迷と経費の増加により設備投資資金の確保が難しくなっております。そこで、平成 19 年 11 月 30 日以前に製造された無線機器であっても装置が発する電波が規格内であることを確認出来れば、引き続き利用できるとする方針となり、総務省より無線機器を買い替え以外の下記の 3 つの選択肢が提示されました。

① メーカーの機器形式で判別 ⇒ 書類の申請で受理されれば継続利用可能になる。

総務省が型番(継続利用可能な旧無線規格機器)をHP上で公表 ➡ 免許人が届出書提出(型番合致した場合) ➡ 総合通信局に提出 ➡ 受理 ➡ 継続利用となる。

② 登録検査事業所の測定で判別確認 ⇒ 業者の測定が必要。

無線機器を現状のまま新規規格内か測定する。

③ フィルター（今後開発する）を機器に取り付ける。⇒ 業者の測定が必要。

フィルターを挿入することで規格内適合していることが確認できれば継続利用ができる。

一番有効と思われるのが①の書類申請です。しかし、かなりの型番が出回っているため、メーカーのデータ提出、総務省の審査等かなりの時間が掛ると思われます。詳細な情報が分かり次第随時連絡致します。

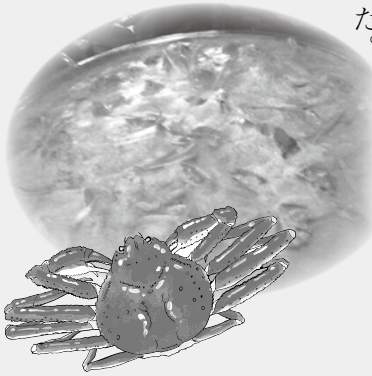




好評だった先月の紅えびまつりに続き、10月10日(土)鼠ヶ関港にて「鼠ヶ関とれたて！お魚市かにまつり」が鼠ヶ関地域協議会「蓬莱塾」の主催で開催されました。

鼠ヶ関とれたて！
お魚市

かにまつり



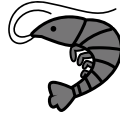
今回の主役はその名のおり「かに」！鮮がに、茹でガニ、かに汁などまさにかにづくし。前回の「紅えびまつり」を上回る約3000人ものお客様に会場していただき、販売開始から1時間ほどで完売する大盛況ぶりでした。前回、大好評だった模擬競りに、分け魚詰め放題などのイベントも開催され、お客様も大満足の様子でした。



女性部通信

「魚、食てけっチャーの」inねぎサミットな2日間

女性部では支部ごとに特色があり、様々な活動をしています。さて、酒田支部はというと「イベント出店レディース」ですね。今回は、10月31日、11月1日開催の「ねぎサミット」という不思議な名前の世界的なイベントに出動しました。



全国のねぎを相手に「鮭のつみれ汁」「紅エビ汁」「イカ焼き」など8種類のメニューで勝負しました。2日間の来場者数は、なんと10万5千人(主催者発表)ということで、そのほとんどが我が出店に来たはず(主観的発表)。部員の皆さん、漁協の応援団の皆さん、お疲れ様でした。



わたしたちと一緒に楽しく活動しませんか？

地魚を使った料理教室、お食事会 セミナー、研修会、研修視察、旅行 加工品の開発、販売活動



お楽しみが盛りたくさん！



各支部で特色を持った活動に取り組んでいます。詳しくは各支所へお問い合わせください。

山形県漁協女性部員 募集中です



● 浜の未来へ大きな架け橋

海と渚通信 vol.8

今回は、海と渚の清掃活動に参加していただいた5団体を御紹介します。

平成27年6月3日に遊佐町立遊佐中学校1学年の皆様125名が参加し、西浜海岸の清掃をしていただき、広範囲に渡り西浜海岸をきれいにさせていただきました。

6月14日には「厳島神社及び弁天島周辺草刈り清掃する会」の皆様32名が参加し、弁天島と鼠ヶ関海岸の清掃活動を行っていただきました。生い茂っていた周辺の雑草も草刈機を使用してきれいに刈り取っていただきました。

6月27日には鶴岡市由良自治会の5名の方々より由良漁港の清掃をしていただきました。皆さんで海に入り、海中に大量に浮いている藻を取り除いていただきました。

7月4日には油戸住民会の皆様70名が参加し、油戸海岸の清掃をしていただきました。流木や木の枝など拾っていただき、草刈機で草刈もしていただきました。油戸住民会の皆様は、昨年も海と渚の助成制度を利用して清掃活動をしていただいております。

8月2日には酒田小型船舶安全協会の皆様70名が参加し、第1・第2酒田PBSの清掃をしていただきました。こちらの団体は、毎年この時期に全会員が集合して、第1・第2酒田PBSの清掃をしていただいています。

海と渚の活動に御協力いただいた皆様、お疲れ様でした。引き続き、海と渚の環境美化への御協力をよろしくお願ひします。



「厳島神社及び弁天島周辺草刈り清掃する会」の皆様

未来につなげよう

青い海と
美しい渚

お問い合わせ先

庄内総合支庁 水産振興課内
海と渚環境美化推進協会 事務局
担当：高橋 ☎0234-24-6161

漁船セーフティラリーみちのく2015実施中

～ 声かけて つなげる絆 無事故の輪 ～

主催：山形県漁船海難防止協議会、山形県農林水産部及び酒田海上保安部

漁船及び漁業者の事故の減少を図ることを目的として、漁業協同組合及びその組合員が、「安全操業」、「安全運航」の声かけ運動、「見張りの徹底」の推進等を行う「漁船セーフティラリー」を山形県漁業協同組合のすべての支所等が参加し、10月1日から12月31日までの3ヶ月間実施中です。

お問合せ先：酒田海上保安部交通課 TEL 0234-24-0055

● 我ら海の子、元気な共済

漁業の6次産業化に向けて(シリーズ10)

10月6日に水産加工コンソーシアムの研修会を開催しました。
今回は、商品作りを勉強するために、(株)三越伊勢丹食品統括部のバイヤーから講演をいただきました。

▶ 講演「都圏で売れる商品作りのヒント」

▶ 講師：株式会社 三越伊勢丹食品統括部グループ食品
商品部生鮮・グロサリーバイヤー 雨宮隆一氏



講演要旨：

『首都圏』という場所で『売れる商品』を『作る』という風に3分割して考えてもらいたい。

▶首都圏には、いろいろな販売チャンネルがあり、弊社であっても場所によって客層が違う。そこで買う理由、どのようなお客様が来るのかを考えて、価格競争のないところを狙っている。

▶売れる商品と売りたい商品はイコールではない。売れる商品は、置いておけば売れるが、売りたい商品には、商品価値、商品背景、味、価格、デザインなどお客様に情報を伝えなくてはならない。お客様は必ず比較購買をするので、競合品についても知っておくべき。そのうえで他との優位性が購買時の判

断材料となる。

▶商品作りにおいては、趣味や生活スタイルで購入される。したがって、誰に、どのような商品を作って、どのように売るかという風が変わってきている。

▶消費者は明快なコンセプト・イメージ、センス、独自性や機能性等を求めている。

実際の商談では、自分の身の丈に合った販売、自分の売りたいお客様のいるところを探す勉強が必要です。水産加工品や鮮魚等の販売でアドバイスが必要な際には、庄内水産振興課までお問い合わせ願います。

庄内総合支庁水産振興課



チョコーキャンペーン! 展開中!!

「新医療共済 」をご存知ですか？

※以下の内容は、平成25年10月以降のご契約に適用されます。

公的医療保険制度の対象となる

1

手術・放射線治療を幅広く保障！

- 手術件数がこれまでの約2倍^{注)}に拡大！ 注)「H21・22 社会医療診療行為別調査(厚生労働省)」よりJF共水連にて試算
- わかりやすくなった手術保障！ ※公的医療保険制度の対象手術であっても、共済金が支払われない手術があります。

2

先進医療を通算**2,000万円**まで保障！

- 手頃な掛金で大きな保障！安心して治療に専念！
公的医療保険等の対象外で高額な費用がかかる先進医療をうけたときに、その先進医療にかかる技術料に相当する額を保障します。先進医療特約の共済掛金は、**年間800円**^{注)}と手頃な掛金で安心して治療に専念できます。
注)健康に不安がある方向けの共済では共済掛金が異なります。
- 「検査」や「診断」についても対象！
支払い対象となる先進医療については、手術などの「治療」だけでなく、「検査」や「診断」も含まれます。全額自己負担となる先進医療のすべてを幅広く保障します。

上記は保障の概要を説明したものです。ご契約の際は、重要な事項が記載されている「契約概要」「注意喚起情報」および「ご契約のしおり・共済約款」を必ずお読み下さい。

詳しくは山形県漁業協同組合もしくは共水連東北事業本部山形支店までお問い合わせください。

● 気がつけばいつも JF 共済

水揚情報

平成27年10月31日現在

(単位：千円)

Table with columns for '支所別' (Branches), '水揚合計' (Total Catch), and '水揚地内訳' (Catch Location Breakdown). Rows include monthly totals, year-to-date totals, and comparison with previous periods.

今あがっている魚

— 10月のベストテン — 前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

Table comparing '水揚金額' (Catch Amount) and '漁獲量' (Catch Volume) for 10 fish species. Includes illustrations of squid and octopus and '月間MVP' (Monthly MVP) labels.

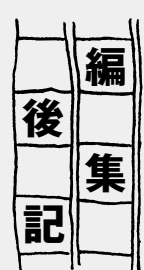
人事異動のお知らせ

全国合同漁業共済組合 山形県事務所

昇格 (平成27年11月1日付) 佐藤 公一 副所長 [次長] □は旧所属
退職 (平成27年10月31日付) 早川 茂樹 [副所長]

【総務部長(兼)管理課長 松本一夫】
最後に各船の大漁と操業・航海の安全をご祈念申し上げます。

●去る9月19日に第36回豊かな海づくり大会...
●十五夜は旧暦の8月15日。現在の歴では9/7、10/8の間に訪れる満月の夜。
●11月23日は勤労感謝の日。又、新嘗祭(新穀の収穫を神に感謝する祭り)も行われる。





「やまがた庄内浜の魚応援店」と漁業者の交流会

去る10月20日(火)にやまがた庄内浜の魚応援店と漁業者との交流会が山形市の料亭「亀松閣」にて開催されました。漁業者が漁業種類別の操業方法を説明し、魚の取り扱い方や、獲れている魚を紹介しました。

全国的に有名になったおぼこサワラや活ズワイガニ、紅エビ、神経メヒラマサなどは、その場で調理され試食も行われました。応援店の皆様は漁業者の話に何度も頷いて感心している様子で、熱心に質問していました。

特に生の紅エビと急速凍結の紅エビの食べ比べでは、「皮も剥きやすく甘味が出て食べやすい」「生は鮮度も良くおいしいが、凍結の紅エビもとてもおいしい」と、急速凍結の紅エビへの関心が非常に高く、内陸地方への紅エビの安定供給の可能性を実感しました。

応援店の皆様からは、「庄内浜の魚は非常においしい。多品種の質の良い庄内浜の魚を今まで以上に仕入させていただきたい。」と大変心強い言葉をいただきました。



露され、その迫力には圧倒されました。10時半から開場となり、今か今かと待っていたお客様が、一気に入場の鮮魚販売のブースは大盛況で、あれよあれよという間

10月11日(日)、待ちに待った第7回由良港大漁祭が由良支所内市場で行われました。連日の時化で開催が危ぶまれましたが関係者の日頃の行いの賜物か、劇的に天候が回復して曇り模様ながらも無事開催することができました。当日は開場3時間前から並んでいる人もおり300mにも及ぶ長蛇の列となりました。

由良港大漁祭

に午前中で完売となりました。また、毎年人気の魚の詰め放題では、袋をパンパンにしながから必死に詰め込むお客様の姿が印象的でした。市場外にはカレイの唐揚げや焼き魚、アンコウ汁、アナゴ焼き、サザエ焼きなどのブースが設けられ、おいしそうに食べているお客様の笑顔が印象的で「おいしかった!」「ごちそうさまでした!」「毎日やってくればいいのに」と温かい言葉をいただきました。

祭終了後、後片付けをしている際に突如激しい風と雨が降ってきて、神様はすべて見ていて下さっているんだなど実感しました。今回も大成功の由良港大漁祭。足を運んでくださったお客様、本当にありがとうございます。また、ご協力してくださった関係者の皆様方大変お疲れさまでした。

由良総括支所 鈴木 紳之介



広報誌

すいさん山形

325/平成27年11月号

編集・発行／山形県漁業協同組合 酒田市船場町二丁目2番1号
代表理事組合長 五十嵐 安哉

☎ 0234-24-5611 FAX 0234-22-6455
http://www.kengyokyo.or.jp/